

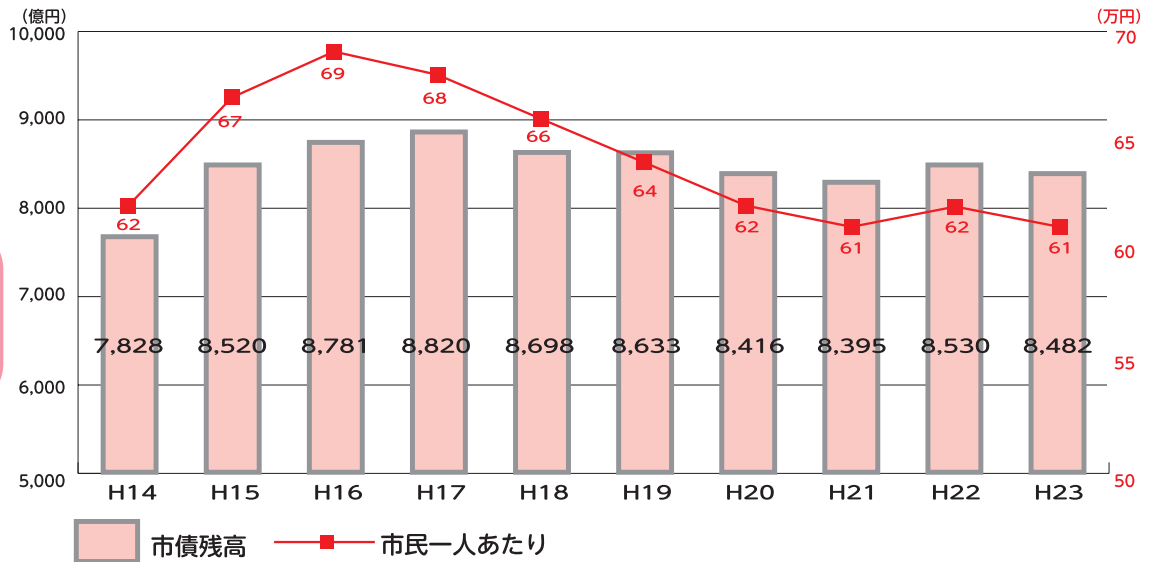
11 借入金の残高は多いの？



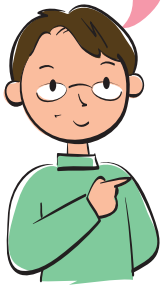
最後に公債費で返済している借入金(市債)の残高についても見てみましょう。

市債の残高を見てみよう

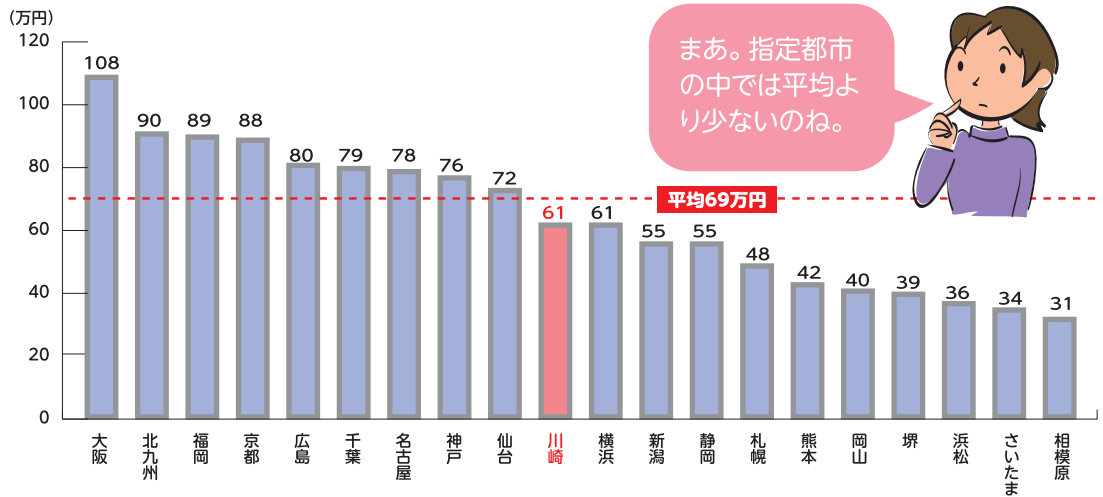
市債残高と市民一人あたり残高の推移 (普通会計決算額)



市民一人あたり61万円？これって多いんですか？



各指定都市市民一人あたりの市債残高 (平成 23 年度普通会計決算)



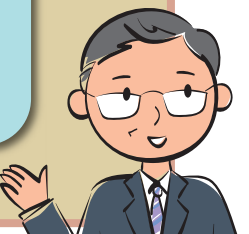
まあ。指定都市の中では平均より少ないのね。



借金(市債の発行)なんてしないで、できるだけ減らしたほうがいいと思うんですけど…？

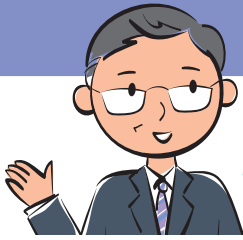


学校などの公共施設を建てるために、その年度の予算だけを使った場合、施設は何年も使うのに、建築費用を負担するのは、その時の市民だけになってしまい不公平ですよね。そのため、市債を発行して将来の市民にも平等に負担をしてもらうようにしているんです。



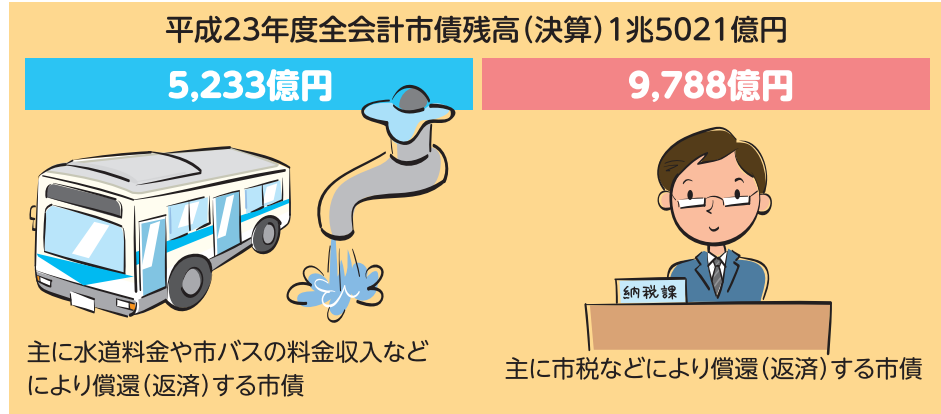
トピックス

全会計の市債残高を見てみよう

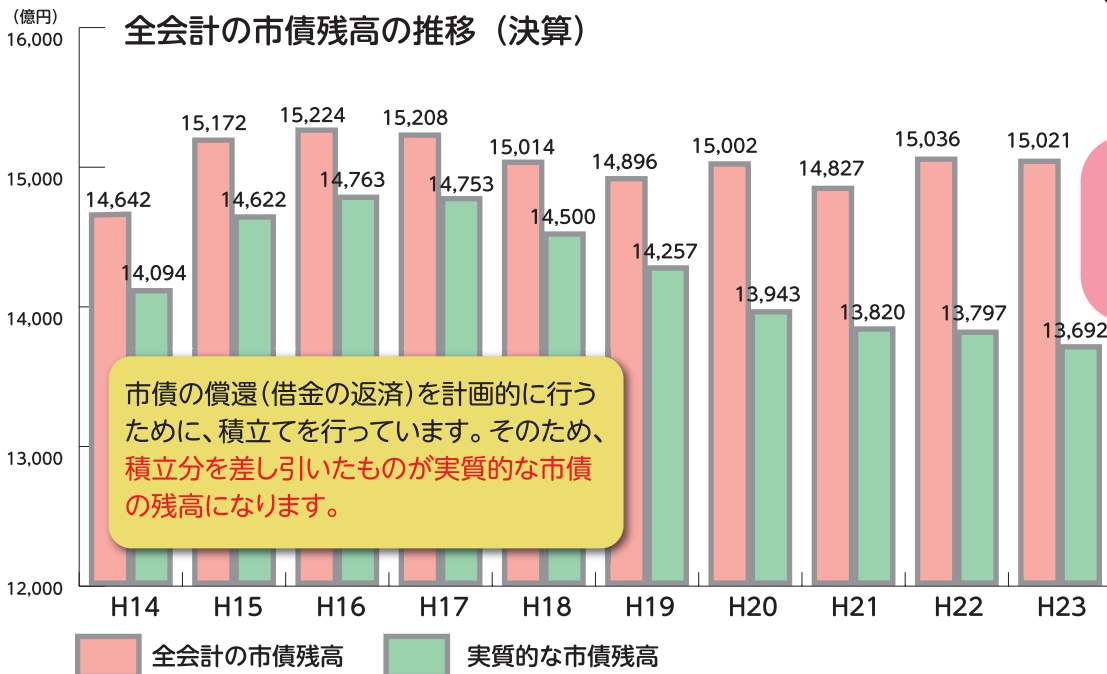
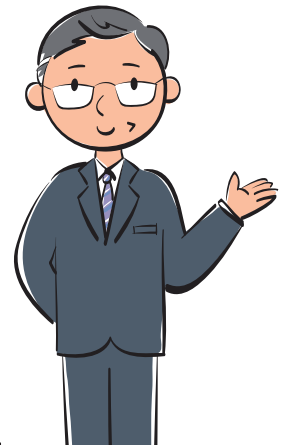


さて、今度は全会計の市債残高を見てみましょう。まず市債は、市税などにより償還(返済)するものと、料金収入などにより償還(返済)するものがあるんですよ。

市債のぜんぶを税金で返済するわけではないんですね。



次に下のグラフをご覧ください。年度ごとに2本ずつのグラフがありますね。ひとつは全会計の市債残高で、もうひとつは積立分を除いた市債残高になっています。



市債の償還(借金の返済)を計画的に行うために、積立を行っています。そのため、積立分を差し引いたものが実質的な市債の残高になります。

実質的な市債残高は平成16年頃から順調に減ってきているのね。



そうですね。しかし市債の発行は、将来の負担を明らかにして事業を行い、後世の市民に大きな負担を残さないように計画的に借入れをしていくことが大切ですね。